

は し が き

第14回のプログラミング・シンポジウムが予定通り開かれることになった。せんだって私の昔ばなしをする機会があって、その節このシンポジウムのはじめの頃の話から、その後の発展の過程の話をおりまぜて、どんなにこの方面の発達があって、それにどんなにこのシンポジウムがわが国のこの方面の発展に寄与したかをふりかえって見た。そして今さらながら感を深くした。

このシンポジウムに出席している人々のなかにも、同じ感をいだかれる方も多いであろう。それにしても、層が厚くなったものである。そして今では、学会活動も特に目新しいものもなく、その側面も益々拡がって行き、着実に内容も豊かになって来た。

今回の宿題研究は、コンピュータ・エイデッド・プログラミングであって、いろいろな方面からの研究発表が寄せられている。この問題はこれからの問題でもあるしまだまだ手がけなければならない範囲も広いので、今回のシンポジウムで終るものでないことは当然のことであって、このシンポジウムでの成果が次の足がかりとなって、進展して行くと期待するものである。

また夏のシンポジウムは、ミニ・コン・シンポジウムとシステム評価シンポジウムとであった。この小集団で濃縮された討論が行なわれた。これらについてもこのシンポジウムで報告される。

なお将来をにやう若い人々の研究集団である「若手の会」の夏の会も行なわれたが、それにながずかな手をかした。これについてもこのシンポジウムで報告される。

米田信夫幹事長をはじめとする幹事団のほとんど1年に近い間の努力に対して深く感謝する次第であるが、事務を担当して下さった慶応工学会の人々にも感謝の意をあらわしたい。

プログラミング・シンポジウム委員会

委員長 山 内 二 郎

本 PDF ファイルは 1965 年発行の「第 6 回プログラミング—シンポジウム報告集」をスキャンし、項目ごとに整理して、情報処理学会電子図書館「情報学広場」に掲載するものです。

この出版物は情報処理学会への著作権譲渡がなされていませんが、情報処理学会公式 Web サイトの https://www.ipsj.or.jp/topics/Past_reports.html に下記「過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について」を掲載して、権利者の検索をおこないました。そのうえで同意をいただいたもの、お申し出のなかったものを掲載しています。

過去のプログラミング・シンポジウム報告集の利用許諾について

情報処理学会発行の出版物著作権は平成 12 年から情報処理学会著作権規程に従い、学会に帰属することになっています。

プログラミング・シンポジウムの報告集は、情報処理学会と設立の事情が異なるため、この改訂がシンポジウム内部で徹底しておらず、情報処理学会の他の出版物が情報学広場 (=情報処理学会電子図書館) で公開されているにも拘らず、古い報告集には公開されていないものが少からずありました。

プログラミング・シンポジウムは昭和 59 年に情報処理学会の一部門になりましたが、それ以前の報告集も含め、この度学会の他の出版物と同様の扱いにしたいと考えます。過去のすべての報告集の論文について、著作権者（論文を執筆された故人の相続人）を探し出して利用許諾に関する同意を頂くことは困難ですので、一定期間の権利者搜索の努力をしたうえで、著作権者が見つからない場合も論文を情報学広場に掲載させていただきたいと思えます。その後、著作権者が発見され、情報学広場への掲載の継続に同意が得られなかった場合には、当該論文については、掲載を停止致します。

この措置にご意見のある方は、プログラミング・シンポジウムの辻尚史運営委員長 (tsuji@math.s.chiba-u.ac.jp) までお申し出ください。

加えて、著作権者について情報をお持ちの方は事務局まで情報をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

期間：2020 年 12 月 18 日～2021 年 3 月 19 日

掲載日：2020 年 12 月 18 日

プログラミング・シンポジウム委員会

情報処理学会著作権規程

<https://www.ipsj.or.jp/copyright/ronbun/copyright.html>